

## 第二次東大阪市立図書館基本構想策定のための アンケート調査実施結果について

### 1. 全体の実施概要

#### ① 目的

第二次東大阪市立図書館基本構想（以下「第二次構想」という。）の策定にあたり、図書館サービスの対象となる各世代（一般市民、子育て層、学校関係者、就業者）に対してアンケート調査を実施することで、図書館の利用状況やそれぞれの世代ならではのニーズを把握します。

また、これからの図書館に望むことや、潜在的な利用者層のニーズを調査することで、市立図書館全体の方向性検討に活かし、第二次構想の「これからの図書館像」、「特色あるサービス」、「特定の属性・ニーズを持つ利用者へのサービス」、児童相談所と複合施設となる新東部地域図書館のコンセプト等に反映することを目的とします。

#### ② 調査期間

7月1日から対象ごとに実施（※実施日程詳細については各世代の実施概要を参照）

#### ③ 全体回答率

対象	配布数	配信	想定 回答数	回答数	回答率 配布数比	回答率 想定回答数比
一般市民（調査票）	2,630	－	400	1,155	43.9%	288.8%
一般市民（Web）	－	○	－	1,762	－	－
一般市民計	2,630	－	400	2,917	110.9%	729.3%
子育て層	1,780	－	400	121	6.8%	30.3%
児童・生徒	1,585	－	1,300	1,395	88.0%	107.3%
教職員	76	－	60	201	264.5%	335.0%
就業者	3,903	○	400	420	10.8%	105.0%
合計	9,974		2,560	5,054	50.7%	197.4%

※配布数には二次元コードを記載したチラシ等を含む

※子育て層は8/29時点のデータを掲載。追加実施分終了後、再度集計・分析予定

## 2. 一般市民

### ① 実施概要

項目	内容
実施期間	調査票…7/1～7/31（各館で配布完了次第終了） Web 回答…7/18～7/31
媒体	調査票（紙）／Web
対象者及び配布先	調査票…永和図書館、花園図書館、四条図書館、石切分室、大蓮分室、移動図書館 Web 回答…市ウェブサイト、LINE で周知
配布方法	カウンターで本の貸出しとともに配布
回収	調査票…返却時または各館回収 BOX Web 回答…Web
配布数	5 館合計で 3,000 枚の調査票を配布
想定回答数	約 400 件 ※令和 4 年度図書館利用者アンケート回収率 15.3%
回答数	調査票…1,155 件 Web 回答…1,762 件

### ② 結果分析・考察

#### ■属性

- 年代について、調査票と Web で差があります。調査票は「70 歳代以上」が 31.0%と最も多く、次いで「60 歳代」(21.4%)、「50 歳代」(18.8%) となっています。図書館を普段利用しない人も多く含まれると考えられる Web は「50 歳代」が 25.8%と最も多く、次いで「40 歳代」(22.8%)、「60 歳代」(18.5%) となっています。また、調査票では「20 歳代」の回答が 1.8%だったのに対し、Web では 4.7%と 2.9 ポイント差がついており、回答数としては 3.9 倍となっています。
- 職業について、調査票は「無職」が 23.4%、「専業主婦・主夫」が 23.3%、次いで「会社員」が 21.6%となっており、Web は「会社員」が 31.4%と最も高く、次いで「アルバイト・パート」(23.2%)、「専業主婦・主夫」(20.1%) となっています。調査票は図書館のヘビーユーザー層をメインに回答いただいたのに対し、Web では労働者の方にも多く回答いただいたのが特徴です。

#### ■図書館の利用状況

- 最も利用する図書館について、東大阪市立図書館（3 館 2 分室、移動図書館、出張図書館、ひがしおおさか電子図書館）との回答は調査票では 97.1%、Web では 62.0%、市外の図書館（大阪市、大東市、八尾市の図書館、府立図書館等）との回答は調査票では

2.4%、Web では 20.5%となりました。なお、Web では 17.4%の未利用者（「図書館を利用しない」）が回答しました。

- 図書館を利用している層を対象とした、図書館をどのように利用しているかについて、調査票・Web とともに「本・雑誌・CD等を借りる」が最も多く（調査票：97.7%、Web：78.1%）、次いで「館内で本・雑誌を読む、CD・DVDを視聴する」（調査票：17.2%、Web：28.7%）となりました。「その他」では、自習や勉強をするといった回答も複数見られました。年代別で見ると、どの年代でも「本・雑誌・CD等を借りる」が最も多いですが、10歳代以外では次いで「館内で本・雑誌を読む、CD・DVDを視聴する」となったのに対し、10歳代では「学校の勉強や仕事に必要な知識を得る」が多くなっています。
- 図書館を利用していない層を対象とした、利用しない理由（Webのみ）について、「貸出、返却の手続きが面倒である」（33.6%）、「自宅や学校、勤務先から遠い」（31.9%）、「忙しくて行く暇がない」（30.0%）が上位となりました。「その他」では、子連れだと子どもが騒ぐため静けさを求められる図書館を利用しづらい、旭町図書館がなくなり他の図書館は遠くなった、コロナ以降不特定多数の人が触っている本に触ることに抵抗を感じるといった理由が複数挙げられました。また、年代別で見ると、20歳代、40歳代は「貸出、返却の手続きが面倒である」、30歳代は「忙しくて行く暇がない」、50歳代は「自宅や学校、勤務先から遠い」、60歳代、70歳代以上は「本や雑誌は購入して読んでいる」が最も多い回答となりました。

## ■電子図書館

- 電子図書館の利用率について、調査票では「利用したことがある」が 14.7%、Web では「利用したことがある」が 17.8%であり、3.1ポイント差と大きな乖離はみられませんでした。年代別で見ると、「利用したことがある」は 10歳代が 63.6%と最も高く、次いで 30歳代が 25.6%となっています。
- 電子図書館を利用したことがある層を対象とした、電子図書館の良いところについて、調査票・Web とともに「いつでもどこでも借りられる」（調査票：64.7%、Web：74.1%）が最も多く、次いで「タブレットやスマートフォン等で読める」（調査票：53.5%、Web：70.6%）となりました。
- 電子図書館を利用したことがない層を対象とした、電子図書館を利用しない理由について、調査票・Web とともに「電子図書館を知らない」「使い方が分からない・分かりにくい」「紙の本・雑誌が読みたい」が上位となりました。調査票では「紙の本・雑誌が読みたい」（43.4%）、「使い方が分からない・分かりにくい」（38.4%）、「電子図書館を知らない」（35.3%）、Web では「電子図書館を知らない」（51.3%）、「使い方が分からない・分かりにくい」（34.7%）、「紙の本・雑誌が読みたい」（27.3%）の順となりました。

- 電子図書館にあったら良いと思う本のジャンルは、調査票・Webともに「旅行・レジャー」「趣味・生活」「小説」「コミック・マンガ」が上位となりました。

#### ■これからの図書館サービス

- 図書館のサービスについて充実してほしいものとして、調査票・Webともに「本・雑誌等の充実」が最も多くなりました。次いで、調査票では「貸出期間の延長」「カフェ等の飲食できるスペース」、Webでは「カフェ等の飲食できるスペース」「Wi-Fi等インターネット利用環境」の順となりました。図書館を利用している／していない層別で見ると、最も回答が多かった選択肢は、利用している層では「本・雑誌等の充実」(59.4%)、利用していない層では「カフェ等の飲食ができるスペースの設置」(46.3%)となり、層によって充実してほしいサービスに違いがあることが分かりました。また、年代別で見ると、どの世代でも「本・雑誌等の充実」が最も回答が多かったですが、10歳代では次いで「学習席の設置」が多くなっており、図書館への学習席設置に対するニーズが見受けられます。
- 移動図書館でどんなサービスが拡充されたら使いたいと思うかについて、調査票・Webともに「日程や場所を分かりやすく知らせる」「話題性のある本を増やす」「停車時間を長くする」が上位となりました。

#### ■新しくできる図書館について

- 新しい図書館にあったら良いと思う機能やサービスについて、調査票・Webともに「明るく開放的で、居心地の良い空間」が最も回答が多く、次いで「気分転換・リフレッシュできる」でした。図書館を利用している／していない層別で見ると、「明るく開放的で、居心地の良い空間」がどちらも最も割合が高かったものの、利用している層は59.0%、利用していない層は66.8%と7.8ポイント差がついており、利用していない層がより空間的な居心地の良さを重視していると思受けられます。年代別で見ると、どの世代も「明るく開放的で、居心地の良い空間」の割合が最も高かったものの、10歳代は「館内で勉強できるスペースがある」が同等の割合となり、40歳代では2番目に高い割合となりました。また、20歳代、30歳代では2番目、40歳代では3番目に「子どもが声を出して遊べる」が高い割合となっています。

### 3. 子育て層

#### ① 実施概要

項目	内容
実施期間	7/18～9月中旬
媒体	調査票（紙）／Web回答（二次元コードを掲載したチラシを配布）

項目	内容
対象者及び配布先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全ての市立保育園、幼稚園、認定こども園（17園）の園児保護者</li> </ul> <追加配布> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター窓口</li> <li>・乳幼児健診</li> <li>・各図書館でのブックスタート参加者等</li> </ul>
配布方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全ての市立保育園、幼稚園、認定こども園（17園）の園児保護者…7/13開催の所長・園長会にて各園長に依頼、各園から保護者に配布</li> <li>・子育て支援センター窓口、乳幼児健診、各図書館でのブックスタート参加者等…調査票を追加配付</li> </ul>
回収	調査票…窓口等で回収 Web 回答…Web
配布数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全ての市立保育園、幼稚園、認定こども園（17園）の園児保護者約 1,780 人を対象に二次元コードを掲載したチラシを配布</li> <li>・子育て支援センター窓口、乳幼児健診、各図書館でのブックスタート参加者等へ調査票約 1,000 枚を追加配布</li> </ul>
想定回答数	約 400 件 ※令和 4 年度子ども読書活動推進に関するアンケート調査回収率 20.8%
回答数	121 件（8/29 時点）

※回収率に合わせて実施期間を延長し、調査票も追加で実施

※今回の結果分析においては、8/29 時点のデータを使用

## ② 結果分析・考察

### ■属性

- 年代について、「30 歳代」が 52.1%と最も割合が高く、次いで「40 歳代」（31.4%）となっています。
- 職業については、「会社員」（36.4%）、「専業主婦・主夫」（25.6%）、「アルバイト・パート」（17.4%）の順となっています。

### ■図書館の利用状況

- 最も利用する図書館については、東大阪市立図書館が 66.1%、市外の図書館が 14.9%、「図書館を利用しない」と回答したのは 19.0%となりました。
- 図書館をどのように利用しているかについて、「本・雑誌・CD 等を借りる」が約 9 割

と突出して多く、次いで「館内で本・雑誌を読む、CD・DVDを視聴する」(23.5%)となりました。

- 図書館を利用しない理由について、「忙しくて行く暇がない」が39.1%と最も多く、次いで「貸出、返却の手続きが面倒である」(30.4%)、「自宅や学校、勤務先から遠い」(26.1%)となりました。「その他」では、子どもが騒ぎそう、静かにできないといった理由が複数見られました。

### ■電子図書館

- 電子図書館の利用率について、「利用したことがある」は26.4%となりました。
- 電子図書館の良いところについて、「いつでもどこでも借りられる」「タブレットやスマートフォン等で読める」が多く挙げられました。
- 電子図書館を利用しない理由について、最も多かったのが「電子図書館を知らない」、次いで「紙の本・雑誌が読みたい」「使い方が分からない・分かりにくい」となりました。
- 電子図書館にあったら良いと思う本のジャンルは、「子育て・育児」「コミック・マンガ」「旅行・レジャー」「趣味・生活」「児童書・絵本」の順となり、子育てをしているという点から「子育て・育児」と回答した人が多いことが推察されます。

### ■これからの図書館サービス

- 図書館のサービスについて充実してほしいものの上位は、「本・雑誌等の充実」「乳幼児・児童向けの資料やイベントの充実」「カフェ等の飲食ができるスペースの設置」となり、子ども向けの資料やイベントが特有のニーズとして見受けられます。
- 移動図書館でどんなサービスが拡充されたら使いたいと思うかについて、「日程や場所を分かりやすく知らせる」「学校の近くに停車する」が上位となりました。

※図書館を利用している／していない層別での図書館のサービスについて充実してほしいものについて分析予定

### ■子育て支援

- 子育て層にとって図書館を使いやすい曜日・時間帯は、「休日(土日祝)午前中」が約6割と最も多く、次いで「休日(土日祝)午後(12~17時)」が約5割となりました。
- 子育て支援で充実してほしいサービスについては、「おもちゃのある遊び場の設置」「乳幼児向けおはなし会(読み聞かせ)」「市内の子育て情報(パンフレットやチラシ等)の配布」の順で回答が多くなっています。
- 子育てに関して充実してほしい情報については、「外出・遊び」「食事・食育」「子どもの体や発育」という順になっています。

### ■新しくできる図書館について

- 新しい図書館にあったら良いと思う機能やサービスについて、「明るく開放的で、居心地の良い空間」が74.4%と最も多いです。ただ、他世代の回答では「明るく開放的で、居心地の良い空間」が突出していましたが、子育て層では「子どもが声を出して遊べる」もほぼ同等の72.7%となりました。「その他」では、子どもが声を出して遊ぶまではいかなくとも、声を許容してほしいという意見がありました。

※図書館を利用している／利用していない層別での新しい図書館にあったら良いと思う機能やサービスについて分析予定

## 4. 学校関係者（児童・生徒）

### ① 実施概要

項目	内容
実施期間	7/10～7/21
媒体	Web 回答（二次元コードを掲載した案内文を配布）
対象者及び配布先	東地区、中地区、西地区より選出した小学校3年・5年及び中学校2年 小学校…縄手小／英田北小／英田南小／高井田東小／桜橋小／くすは縄手南校前期課程 中学校…縄手中／英田中／長栄中／上小阪中学校／くすは縄手南校後期課程
配布方法	7/4 教育施策連絡会にて各校長に依頼、各校から対象学年に配布
回収	Web
配布数	・二次元コードを掲載した案内文（電子データ）を各校にメールで送信 ・対象人数は約1,700人
想定回答数	約1,370件 ※令和4年度子ども読書活動推進に関するアンケート調査回収率81%
回答数	1,395件

### ② 結果分析・考察

#### ■属性

- 学年について、「小学校3年生」が30.1%、「小学校5年生」が35.7%、「中学校2年生」が34.2%となっています。

#### ■図書館の利用状況

- 最も利用する図書館について、東大阪市立図書館が62.0%、市外の図書館が4.2%、「学校の図書室」が12.2%、「図書館を利用しない」が21.6%となりました。東大阪市立図

書館の中でも「ひがしおおさか電子図書館」と回答したのは4.9%です。学校別で見ると、「学校の図書室」と回答した割合が各学校によって差があります。

- 図書館をどのように利用しているかについて、「本・ざっし・CDなどをかりる」が62.6%と最も多くなりました。学年別で見ると、学年があがるにつれて「調べものをする」は少なくなっています。
- 図書館を利用しない理由については、「知りたいことはインターネットで調べる」「本やざっしをあまり読まない」「いそがしくて行く暇がない」が約3割の回答がありました。学年別で見ると、「場所や使い方が分からない」は小学校3年生で、「知りたいことはインターネットで調べる」は小学校5年生で、「本やざっしをあまり読まない」は中学校2年生で最も多くなっています。

## ■電子図書館

- 電子図書館の利用率について、「利用している」が40.9%であり、他世代と比較して電子図書館の利用率は高くなっています。
- 電子図書館の良いところについて、「読みたい、使いたい本がある」が66.4%と最も多く、次いで「タブレットやスマートフォン等で読める」(49.7%)、「いつでもどこでも借りられる」(42.4%)となっています。学年別で見ると、どの学年でも全体傾向と大きく変わらないですが、特に小学校5年生、中学校2年生では約6割が「タブレットやスマートフォン等で読める」と回答していました。また、「使うのが楽しい」は小学校3年生、小学校5年生では3～4割が回答していたのに対し、中学校2年生では2割に及ばない回答となりました。
- 電子図書館を利用するようになって、読書への興味はどう変わったかについて、「とても興味がわくようになった」(47.1%)、「少し興味がわくようになった」(33.5%)の合計が約8割であり、児童・生徒へ読書への興味向上の影響を与えたと見受けられます。学年別で見ると、「とても興味がわくようになった」は小学3年生で66.5%と最も高く、学年があがるにつれてその割合は低くなっています。
- 電子図書館を利用しない理由については、「使い方が分からない・分かりにくい」が最も多く、次いで「本をあまり読まない」「電子図書館を知らない」「読みたい本がない」といった順になっています。「その他」では設定がうまくいかない、使いたいID・パスワードが分からないといった回答が複数ありました。学年別で見ると、小学校3年生で「電子図書館を知らない」、小学校5年生、中学校2年生で「使い方が分からない・分かりにくい」が最も回答割合が高くなりました。
- 電子図書館にあったら良いと思う本のジャンルについては、「物語の本」が最も多く、次いで「食べ物や料理、乗り物などの本」「歴史や科学など世の中のことが学べるマンガ」となりました。「その他」では、コミック・アニメ全般、学習漫画の要望が多く挙がりました。



### ■これからの図書館サービス

- 図書館に、今よりももっとあったらいいと思うサービスについては、「人気のあるコミックなどを増やす」が最も多く、次いで「本・ざっしなどをもっと増やす」「Wi-Fi などインターネットが使える」となり、児童・生徒にとって親しみがあり、読みやすいと思われるコミックへの要望が多くなっています。図書館を利用している／していない層別で見ると、利用している層では「本・ざっしなどをもっと増やす」が最も多く、次いで「人気のあるコミックなどを増やす」だったのに対し、利用していない層では「Wi-Fi などインターネットが使える」が最も多く、次いで「人気のあるコミックなどを増やす」となりました。学年別で見ると、「Wi-Fi などインターネットが使える」「カフェなどの飲食ができるスペースがある」が特に中学2年生で要望があります。
- 移動図書館でどんなサービスがあったら使いたいと思うかについては、「話題になっている本を多くする」「日程や場所を分かりやすく知らせる」「本がかりられる期間を長くする」「車をとめる時間を長くする」といった回答が多くなっています。

### ■新しくできる図書館について

- 新しい図書館にあったらいいと思うサービスについては、「明るくて、いごちのいい空間」が最も多く、次いで「勉強できるスペースがある」「食べたり飲んだりしながら過ごせる」となりました。図書館を利用している／していない層別で見ると、双方ともに「明るくて、いごちのいい空間」が最も多いですが、利用している層では「勉強できるスペースがある」「しずかな空間で調べものができる」「子ども・中高生向けの本がたくさんある」と回答した割合が利用していない層より 8.5 ポイント以上高くなっています。一方、利用していない層では「ゲームができる場所がある」と回答した割合が利用している層より 8.1 ポイント高くなっています。学年別で見ると、「勉強できるスペース」の回答割合は学年があがるにつれて高くなっています。

## 5. 学校関係者（教職員）

### ① 実施概要

項目	内容
実施期間	7/10～7/23
媒体	Web（二次元コードを掲載した案内文を配布）
対象者及び配布先	市内全ての市立小学校、市立中学校を対象とし、各校から教職員1名以上
配布方法	7/4 教育施策連絡会にて各校長に依頼、各校から教職員に配布
回収	Web

項目	内容
配布数	・二次元コードを掲載した案内文（電子データ）を各校にメールで送信 ・対象人数は 76 名（各校 1 名以上・図書について主に担当している先生に回答をお願いした）
想定回答数	約 60 件
回答数	201 件

## ② 結果分析・考察

### ■属性

- 年代について、「30 歳代」が最も多く 30.3%、次いで「40 歳代」（28.9%）、「20 歳代」（22.4%）となっています。

### ■電子図書館

- 学校での電子図書館の活用率について、「活用している」が 35.8%、「活用していない」が 64.2%と教職員の立場からは活用していないという回答が多いです。
- 電子図書館を活用している層を対象とした、活用する理由については、「朝の読書時間に使うため」が 72.2%と最も多くなっています。
- 電子図書館を活用していない層を対象とした、活用していない理由の設問では、「活用方法が分からない」「紙の本を使う」「授業では本を使わない（教科書で十分）」といった回答が多くなっています。
- 電子図書館の学校連携開始前と比べて、児童・生徒の様子について気づいたことについては、「特に変わらない」が最も多いですが、「本を読む時間が増えた」「読んだ本の話題が増えた」といった回答もありました。また、子どもの様子についての具体例としては、「学校の図書室に興味のある本がないと言っていた児童が積極的に読書するようになった」「電子図書館で読んだもののリクエストが図書室に寄せられるようになった」といったプラスの側面がある一方で、「中学校では読書の時間もなくなり、本人任せな部分が多い」「使う生徒は使っているが使っていない生徒もたくさんいるのであまり変化があるようには感じられない」といった回答もありました。

### ■新しくできる図書館について

- 新しい図書館にあっという間と思うサービスについて、「明るくて開放的で、居心地の良い空間」「館内で勉強できるスペースがある」「子ども・中高生向けの資料が充実している」といった回答が多くなりました。また、「子ども・中高生向けの資料が充実している」は 42.3%と特に教職員向けアンケートで割合が高くなっています。

### ■学校連携

- 出前講座で増やしてほしい講座について、読み聞かせやストーリーテリング、読書感想文の書き方等の講座、子どもたちが興味を持てるような本の紹介等が挙げられました。
- 団体貸出の利用については、学校に本を定期的に配送するようなサービスがあると便利であるという意見が複数出ました。
- 電子図書館の活用についての意見・要望では、パスワードの設定や再発行といった作業の簡易化等、電子図書館の機能に関する要望や、コンテンツ数・種別を増やしてほしいといったコンテンツに関する要望が複数出ました。
- 子どもたちにとって、あったら良いと思う図書館サービスについては、読み聞かせ等従来行っているサービスの要望の他、所蔵してほしい資料に関する意見が出ました。

## 6. 就業者

### ① 実施概要

項目	内容
実施期間	7/5～7/31
媒体	Web（二次元コードを掲載した案内文を配布）
対象者及び配布先	・中小企業だより配信登録者のうち、東大阪市内で働く方 ・包括連携協定締結企業への案内
配布方法	中小企業だより配信メールに案内文と URL を記載 包括連携協定締結企業へ案内文（電子データ）をメールで送信
回収	Web
配布数	・URL を掲載した案内文を電子メールと LINE にて配布 ・中小企業だより配信登録者数：電子メール約 3,900 人、LINE 約 4,660 人 ※重複の可能性あり ・包括連携協定締結企業：12 社
想定回答数	約 400 件
回答数	420 件 ※このうち、設問で勤務地を東大阪市内と回答したものを対象とする

### ② 結果分析・考察

#### ■属性

- 年代については、「40 歳代」が 30.7%と最も多く、次いで「50 歳代」（29.0%）、「30 歳代」（17.2%）となっています。
- 業種については、「製造」（19.5%）、「医療・福祉」（17.5%）、「卸売・小売」（10.6%）の順になっています。

## ■図書館の利用状況

- 最も利用する図書館について、45.4%が東大阪市立図書館と回答しました。市外の図書館を利用しているのは25.6%、「図書館を利用しない」と回答したのは29.0%となり、これは全世代の中で最も高い割合です。
- 図書館をどのように利用しているかについて、「本・雑誌・CD等を借りる」が68.4%と他選択肢と比較して突出して多く、次いで「勉強や仕事に必要な知識を得る」(27.9%)、「調べ物をする」(26.3%)、「館内で本・雑誌を読む、CD・DVDを視聴する」(25.9%)が続きました。
- 図書館を利用しない理由について、「忙しくて行く暇がない」が34.7%と最も多く、次いで「情報はインターネットで得る」(28.7%)、「本や雑誌は購入して読んでいる」(26.7%)となりました。

## ■電子図書館

- 電子図書館の利用率は、「利用したことがある」が10.9%で、他世代と比較して最も低い割合となりました。
- 電子図書館の良いところについて、「タブレットやスマートフォン等で読める」「いつでもどこでも借りられる」が多く挙げられました。
- 電子図書館を利用しない理由について、最も多かったのが「電子図書館を知らない」(57.1%)、次いで「使い方が分からない・分かりにくい」(29.7%)、「紙の本・雑誌が読みたい」(22.3%)となりました。
- 電子図書館にあったら良いと思う本のジャンルは、「趣味・生活」「旅行・レジャー」「コミック・マンガ」が上位となりました。

## ■これからの図書館サービス

- 図書館のサービスについて充実してほしいものの上位は、「本・雑誌等の充実」「カフェ等の飲食ができるスペースの設置」「Wi-Fi等インターネット利用環境」となりました。図書館を利用している／していない層別で見ると、回答割合の高い選択肢は上記3つですが、利用している層は「本・雑誌等の充実」、利用していない層は「カフェ等の飲食ができるスペースの設置」が最も回答割合が高く、利用している層は蔵書、していない層は新たな空間や機能を求めていると見受けられます。
- 移動図書館でどんなサービスが拡充されたら使いたいと思うかについて、「日程や場所を分かりやすく知らせる」が最も多く、次いで「話題性のある本を増やす」「停車時間を長くする」という順になりました。

## ■ビジネス支援

- 就業者層にとって図書館を使いやすい曜日・時間帯は、「休日（土日祝）午前中」「休日

(土日祝)午後(12~17時)」となりました。また、「平日(月~金)夜間(19時以降)」も次いで回答が多くなっています。

- ビジネス支援で充実してほしいサービスについては、「持ち込みパソコン用に電源やWi-Fi環境の提供」「情報収集支援ツールの提供」「専門図書・資料の収集強化」が上位となっています。
- ビジネスに関して充実してほしい情報については、「新聞・雑誌の記事」「業界動向」「経営・経済・職種別ノウハウ・仕事術等のビジネス書」の回答が多くなっています。

#### ■新しくできる図書館について

- 新しい図書館にあったら良いと思う機能やサービスについて、「明るく開放的で、居心地の良い空間」が最も多く、次いで「気分転換・リフレッシュできる」「飲食しながら利用できる」の回答が多くなりました。図書館を利用している／利用していない層別で見ると、利用している層では「明るく開放的で、居心地の良い空間」が約6割、次いで「気分転換・リフレッシュできる」が約4割、利用していない層では「気分転換・リフレッシュできる」(54.5%)、「明るく開放的で、居心地の良い空間」(52.5%)がほぼ差のない状態となり、利用している／していないに関わらず、双方へのニーズがあると見受けられます。

## 7. 全回答のまとめ

#### ■図書館の利用状況

- 全体として、図書館を利用しない層にもアンケートに回答していただきましたが、図書館に興味のある人が回答していると思われ、図書館を使っていない人が少ないというわけではないことに留意が必要です。
- 最も利用する図書館について、全世代を通して東大阪市立図書館のうち出張図書館を選んだのは3件のみとなりました。また、東大阪市立図書館だけでなく、府立図書館を含む市外の図書館等の利用者が多くなっています。

#### ■電子図書館

- 電子図書館を利用しない理由については、児童・生徒以外の一般市民、子育て層、就業者で「電子図書館を知らない」が最も回答が多くなっています(教職員はこの設問なし)。
- 電子図書館の良いところとしては、「いつでもどこでも借りられる」「タブレットやスマートフォン等で読める」が多く挙げられました。また、児童・生徒では「読みたい、使いたい本がある」が最も多くなったのが特徴です。
- 電子図書館を利用しない理由としては、「電子図書館を知らない」「使い方が分からない・分かりにくい」が全世代を通して回答が多くなっています。

### ■これからの図書館サービス

- 図書館のサービスについて充実してほしいものとして、全体として「本・雑誌等の充実」「カフェ等の飲食ができるスペースの設置」「Wi-Fi 等インターネット利用環境」が多く挙がりました。また、一般市民のうち 10 歳代では「学習席の設置」、子育て層では「乳幼児・児童向けの資料やイベントの充実」の回答も多くなっています。
- 移動図書館でどんなサービスが拡充されたら使いたいと思うかについて、「日程や場所を分かりやすく知らせる」が全世代で最も回答が多くなりました。

### ■新しくできる図書館について

- 新しい図書館にあったら良いと思う機能やサービスについては、「明るく開放的で、居心地の良い空間」が全世代で最も多い回答となりました。また、「館内で勉強できるスペースがある」は一般市民のうち 10 歳代、40 歳代、児童・生徒、教職員で回答数が上位となりました。また、子育て層では「子どもが声を出して遊べる」、教職員では「子ども・中高生向けの資料が充実している」の回答が多いことが特徴です。